

財団法人 全日本交通安全協会推薦

加害者の悲劇、被害者の悲劇、雇用主の悲劇……悲劇が連環する……。

飲酒運転 悲劇の連環

キャスト

浅井 周作

宅麻 伸

山本 良子

遠藤久美子

山本 隆

坂田 聡



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>

上映時間 27分

VHS 94,500円(本体90,000円) [C#3508] ※字幕版あり [C#3509]

DVD 94,500円(本体90,000円) [C#3510] ※字幕版付き

飲酒運転 悲劇の連環



改正道路交通法（平成19年）に対応

飲酒運転に対する罰則強化のほか、車両提供や酒類提供、また飲酒運転車両への同乗者責任など、改正道路交通法に対応した内容を含んでいます。

企画意図

飲酒運転。それは自分だけは大丈夫という過信が生み出す心の罫。一度事故を起こし、それが死亡事故になったとき、どんな悲劇が待ち受けているのか。

この作品は飲酒運転により死亡事故を起こした加害者、及びその家族、そして被害者の家族ばかりでなく、加害者が勤務する会社の社会的責任（CSR）までも描いてゆきます。飲酒運転による交通事故が、波紋のように周囲のものたちを悲しみと苦しみの日々に突き落とすようすを描くことで、飲酒運転に警鐘を鳴らします。

内 容

山本隆が勤める照明器具のメーカーは、業績が順調に伸び、社員一同希望に燃えていた。そんな時、隆は会社の仲間と飲みに行った帰り、上司の伊藤に強引に言われて（飲酒運転強要）車を運転することとなった。眠る伊藤を乗せ、夜道を運転しているとき、隆は人を轢いてしまう。ここから悲劇の連環は始まってゆく。被害者の河野は、妻と娘の懸命の励ましにもかかわらず、死亡してしまう。隆の妻は夫が加害者になったことに、茫然自失になり、息子は現実を受け止めきれない。隆の勤める会社は、社員の不祥事ということで社会的責任が問われ、受注が目に見えて減ってゆく。苦悩する社長の浅井、このままでは倒産もありえる。夫に成り代わり、詫びるために出かけた河野の葬式で、隆の妻と息子は、河野の妻と娘と対面する。「パパを帰して。あんたのパパは生きているんでしょ。恵のパパを帰して」同年齢の娘の悲痛な叫びは、隆の息子にむけられ、彼は自分の父の罪の深さを知る。

拘置所の面会で、家族に詫びる隆に息子は精一杯の怒りをぶつけるのだった。

「全部お父さんのせいなんだからな!」

プロデューサー・・・喜多 香織 監督・・・山口 誠
沢口 欣也

制作協力・・・トライアンプ株式会社

企画・制作・・・東映株式会社 教育映像部

2007年作品

P.

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631
関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026
広島出張所 広島市中区八丁堀16-10 〒730-0013 ☎082-511-2066
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……